平成30年度事業報告書

法人の名称　特定非営利活動法人　なないろ

１、事業内容

（１）特定非営利活動に係る事業

①親子のための育児支援施設の運営に関する事業

ア　保育施設の運営事業

・内容　　保育施設の運営
・日時　　通年
・場所　　神奈川県相模原市南区当麻862番地13
・従業員数　常勤　3人（児童クラブ事業と兼務）
　　非常勤12人（内7人は児童クラブ事業と兼務）
　　補助スタッフ3人（児童クラブ事業と兼務）
・対象者　　保育を必要とする乳幼児30人
・支出額　　13,271,575円（前年度12,840,561円）

イ　児童クラブ施設の運営事業

・内容　　児童クラブの運営
・日時　　通年
・場所　　神奈川県相模原市南区当麻862番地13
・従業員数　常勤3人（保育施設事業と兼務）
　　非常勤10人（内7人は保育施設事業と兼務）
　　補助スタッフ3人（保育施設事業と兼務）
・対象者　　児童クラブを必要とする小学生43人
・支出額　　11,174,816円（前年度11,218,794円）

２、総括

・29年度、30年度と2年間スタッフが変わらず運営できたことは、子ども達や保護者にとって、信頼関係を築く上でも評価できるポイントであった。

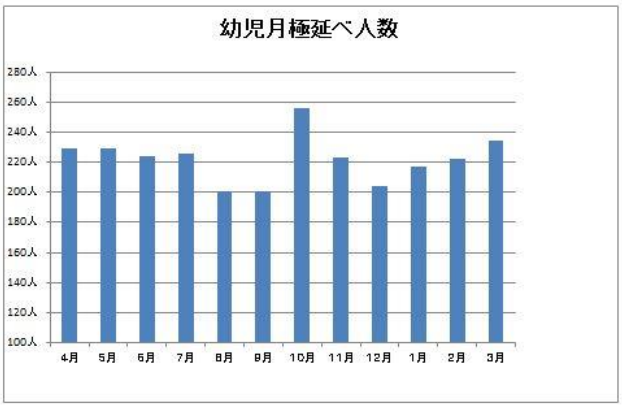
・開園して9年が過ぎ、なないろの存在が周知されてはきたが、相変わらず一時預かりの利用は低迷している。保育所・児童クラブ利用＝就労が必須ではなく、一時利用は就労の有無を問わず利用できることを広めていきたい。その為に何をしたらよいのか考えることが次年度の課題。

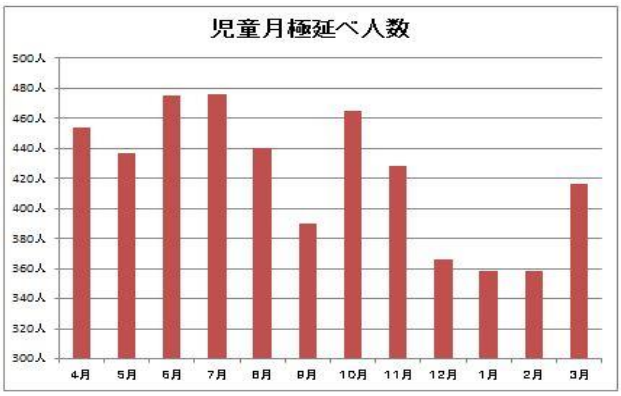
・昨今児童虐待が問題視されている中、24時間子どもと関わらなくてはならない専業主婦が、子育てに行き詰まった時、息抜きに来れる場所、利用できる場所、相談できる場所として利用できるよう考えていきたい。

・経営状態は、今年度も赤字にはならないものの、厳しい現状。子ども達に掛ける部分や人件費を削るのではなく、節電・節水等に気を付ける。給食、おやつの食品ロスを減らす。等スタッフ一人一人が節約を心掛けていかなければならない。

３、利用者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼児月極人数	14	13	13	13	13	13	14	13	14	14	14	14	
幼児月極延べ人数	229	229	224	226	201	201	256	223	204	217	222	234	2666
幼児一時延べ人数	44	28	27	52	42	23	24	21	27	19	24	39	370
幼児18時以降の延長利用延べ人数	18	23	24	39	18	28	27	32	30	31	23	20	313
幼児19時以降の延長利用延べ人数	9	3	2	12	3	4	2	4	2	4	2	5	52
児童月極人数	34	35	35	35	36	37	37	36	36	36	36	36	
児童月極延べ人数	454	437	475	476	440	390	465	428	366	358	358	416	5063
児童一時延べ人数	3	3	2	0	2	1	0	0	1	0	0	0	12
児童18時以降の延長利用延べ人数	68	69	61	68	71	65	78	57	38	47	67	67	756
児童19時以降の延長利用延べ人数	20	22	20	29	41	20	22	17	3	7	16	11	228





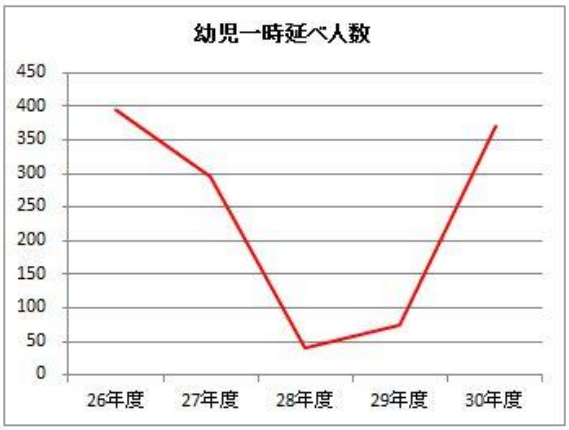
＊下半期の 19 時以降利用者減少は、時間外を含む基本開所時間（7 時～19 時）前後の時間外（7 時前・19 時以降）の保育料を大幅に値上げしたことにより、基本母親が迎えに来ていた家庭が、父親も協力し、降園時間が早まった事にもある。

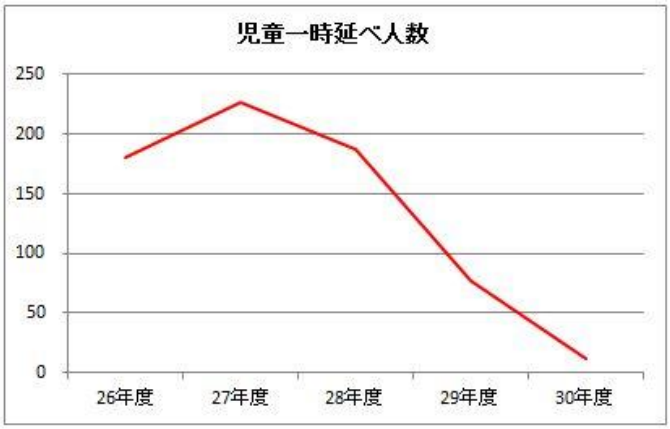
各家庭で工夫し、協力し合い、降園時間を早められることは、子どもにとっても良い事だと感じるが、仕事の都合等で降園時間が早められず、遅くまで預けなくてはならない家庭にとっては、時間外保育料の値上げは厳しいものがある。

時間外保育料に関しては、今後も課題が残る。

過去５年間の利用者推移

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
幼児月極延べ人数	1,718	2,656	2,770	2,784	2,666
幼児一時延べ人数	396	296	40	74	370
児童月極延べ人数	4,968	4,983	5,008	5,780	5,063
児童一時延べ人数	181	226	187	77	12





＊30 年度の児童月極延べ人数の減少誘因は、今まで週 3 利用が最低だった利用料金を、8 月より週 2 利用料を設定したため、必要最低限の利用回数に留める家庭が増えたことにあるのではないか。

＊30 年度の幼児の一時利用増加は、スタッフの子ども 3 名が増えたことに起因する。
本来の一時利用実数は上記の約 1 割になり、減少の一途をたどっている。
次年度は 3 名のうち 2 名が児童クラブに上がり、日々の定員数にも余裕が出てくるため、積極的に一時を受けていこうと思う。

４、事業報告

赤字　保育・児童クラブ合同

月	保育部門	児童クラブ部門
４月	**10 日　健康診断** **12 日　新入児歓迎会** 今年度の入園・進級プレゼント **17 日　避難訓練（火災）** 避難訓練の意味・必要性を知る	**12 日　新入児歓迎会** 全員の自己紹介ができなかった
５月	**８日　健康診断** **８日　引き渡し訓練＜詳細別途記載＞** **16 日　避難訓練（火災）・防犯訓練** ・園内からの避難の方法を身につける。 ・不審者が侵入してきた場合の合図を知る ・園児の人数が少なく、スタッフが多かったので、スムーズに避難できた。	**16 日　避難訓練（火災）** 今年度初めての訓練。 「学校でやってるから大丈夫」と言う子もいたが、訓練の大切さを伝えると真剣に取り組んだ。 **28 日　園外保育＜詳細別途記載＞**

引き渡し訓練

目的　震度５以上の大地震が発生したと想定し、園児を安全にかつ速やかに保護者に引き渡せるよう訓練を行う。

日時　2018 年５月８日（火）13 時 50 分～15 時 30 分

場所　なないろキッズルーム

内容　13：50　震度５強の地震発生

14：00　フェイスブック、ブログ「今日のなないろ」に、子ども達の様子を掲載
なないろより保護者引き取り依頼の一斉メールを送信

14：15　引き渡し開始

15：25　全園児引き渡し終了

反省
- 緊急時、代理人に引き渡しＯＫな場合は、代理人を決めておいてもらう。
- 荷物は玄関に準備しておいた方がよい
- 寝起きで寒かったので、上着を持って来るようにメールに入れればよかった。
- 避難訓練も同時に行えばよかった。
- スタッフの子どもの代理人に、なないろを入れておこう。（在籍小中学校）
- スタッフも緊張感をもって取り組もう！

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">園外保育　城山城址公園

代休のためお出かけ
城山城址公園で遊んだあとは、オギノパンに寄りみんなで揚げパンを食べる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6 月</td><td>12 日　健康診断
14 日　避難訓練（地震）
地震が発生した場合の基本行動を知る
16 日　保護者会</td><td>16 日　保護者会
25 日　三川公園＜詳細別途記載＞</td></tr>
<tr><td colspan="2">園外保育　三川公園

代休のためお出かけ
三川公園でバドミントンをしたり、遊具で遊んだり、川遊びを楽しむ。</td></tr>
<tr><td>7 月</td><td>6 日　七夕
 </td><td>6 日　七夕
 </td></tr>
</table>

10 日　健康診断

13 日　避難訓練（火災）

園内からの避難方法を身につけると共に、避難場所を知る

水遊び

27 日　夕涼み会＜詳細別途記載＞

19 日　消しゴムはんこ（講師：りん子さん）

自由参加だったが、ほとんどの子が楽しみ、素敵なハガキができた

27 日　夕涼み会＜詳細別途記載＞

30 日　消しゴムはんこ（講師：りん子さん）

自由な発想で取り組むのが、得意な子と苦手な子がはっきりと分かれる活動。ずっと座って作業するのが苦手な子が多い。

夕涼み会

目的　地域の人たちと交流しながら季節の行事を楽しむ。
保護者同士の親睦を深める。

日時　2018 年 7 月 22 日（金）17 時～19 時

場所　なないろキッズルーム

内容　模擬店　かき氷（50 円）・ジュース（100 円）
きゅうりの 1 本漬け（100 円）・ナゲット（150 円）・こんにゃく（100 円）
ポップコーン（50 円）・外注焼きそば（200 円）

ゲーム　ロトキャッチャー・カーリング

その他　工作コーナー（ピョンピョンカエル・けん玉）・クイズラリー

<table>
<tr>
<td></td>
<td>
原当麻囃子連によるお囃子

顔出しパネル

反省　・今年度も卒園児等に手伝ってもらったが、何をしたらよいのか分からなそうだったので、打ち合わせをした方がよかった。
・カーリングの景品の飴（100 点で 3 つ、100 点じゃなくても 1 つ）初めに回数を決めていなかったので、同じ子が何度も並んで飴をもらいに来た。途中から「1 回貰った子は遊ぶだけ」と声をかけたが、初めてかどうかが分からなかった。
・ナゲットは 1 時間しないで完売。もう少し量を増やしてもよかった。
</td>
</tr>
<tr>
<td>8 月</td>
<td>
1 日　流しそうめん

2 歳児のみ外で食べる
取りながら食べるのは少し難しそうだったが、みんな本当に楽しそうで、流しそうめんを経験できたのはよかった。
9 日　健康診断
20 日　避難訓練（火災）
非常口からの避難の方法を知る。
24 日　お楽しみ給食

</td>
<td>
1 日　流しそうめん

10～11 日お泊まり会＜詳細別途記載＞
20 日　避難訓練（火災）
騒いだり走ったりすることもなく、避難することができた。事前に訓練の大切さを子ども達に話合わせた方がよかった。
24 日　お楽しみ給食

自分で好きなご飯やおかずを選び、お弁当箱に詰めて、楽しい雰囲気で食べる事ができた。
</td>
</tr>
</table>

31 日　流しそうめん

31 日　流しそうめん

お泊まり会

目的　親から離れて集団生活をすることで自立心を育てる
　　二日間スタッフや友達と行動することにより絆を深める

日時　2018 年 8 月 10 日～11 日

場所　相模川ビレッジ若あゆ

内容　＜1 日目＞

8:45　集合
9:00　入村式
9:30　オリエンテーション
10:00　公園で遊ぼう・・・相模川自然の村公園で水遊び
12:00　昼食
13:00　スポーツ吹矢
15:00　楽焼
16:30　ゲーム大会
17:20　自由時間（外）
18:00　夕食
19:00　スターウォッチング
20:00　入浴
21:00　就寝

＜２日目＞

7:00　起床　ラジオ体操
7:30　朝食
8:40　反省会
10:00　退村式
10:30　解散

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">

反省　・部屋割りでトラブルもなく、グループ同士協力し合って、並んだり、他児を気遣う姿が見られた反面、吹き矢やゲーム大会では、学年に関係なく競い合っていた。
・アタマジラミ、下痢で早退する子もいたが、大きなけがやトラブルもなく楽しく過ごす事ができた。
・日程が盛りだくさんで、次の活動の準備の時間が取れないときもあったが、子ども達も夜まで色々な経験ができ良かった。
また、タイトスケジュールだったのが、子ども達のテンションを下げずにいられたのか？
・２日目が休日で、現地に迎えに来れる親も多く、昨年の様に、園に戻ってきてからの保育がないのはよかった。

</td></tr>
<tr><td>9 月</td><td>11 日　健康診断
11 日　避難訓練</td><td></td></tr>
<tr><td>10 月</td><td>9 日　健康診断
19日　避難訓練（火災）・防犯訓練

31 日　ハロウィン＜詳細別途記載＞</td><td>31 日　ハロウィン＜詳細別途記載＞
</td></tr>
</table>

ハロウィン

目的　行事を通して地域交流を楽しむ

日時　2018 年 10 月 31 日　幼児　9 時 50 分～11 時半　学童　16 時 15 分～17:00

場所　なないろキッズルーム及び近隣施設

内容　幼児・・・タイヨー電気→タキオン→けやきデイサービス→スタッフ宅と回る。
学童・・・けやきデイサービス→タイヨー電気と回る。

反省　＜幼児＞

・タイヨー電気の最後の区切りとして、挨拶か短い歌を唄う等したほうがよかった。
・リュックを嫌がる子はなく、スムーズに背負う事ができた。
・タイヨー電気、タキオン、けやきと、お散歩ロープを使い移動。歩ける範囲でちょうどよく、移動もスムーズにできた。
・今回の交流だけで終わらず、今後も交流出来たらよい。
・けやきでは「はたらくくるま」の歌と踊りを披露。利用者の方々も優しい表情で見守ってくれた。
・お年寄りとの交流があまりないのか、又初めての場所という事もあるのか、一部の子どもは表情が硬く、暫くスタッフから離れられない子もいた。

＜学童＞

・けやきには、靴を入れる袋を持って行った方がよかった。
・ハロウィンの参加を嫌がったり、仮装の衣装を着るのを嫌がったりする子が多かった。
・1 年生の父親が弟と一緒に仮装して参加してくれたのはよかった。
・けやきではお年寄りと一緒に「もみじ」を歌った。練習の時より元気よく歌えた。

11 月	13 日　健康診断 15 日　避難訓練（火災）	14 日　だんらんの家との交流 ＜詳細別途記載＞

だんらんの家との交流

目的　高齢者と子どもの交流機会創出
子どもへの高齢者の理解促進
子育て世代を対象にした、園芸活動のきっかけづくり

日時　2018 年 11 月 14 日（水）　14 時～15 時

内容　なないろ児童及びデイサービス利用者による花植え
児童へのデイサービスの概要説明
利用者と児童の交流

反省　庭にパンジーを植えたり、お年寄りとシャボン玉をしたり、子ども達も楽しんで参加していた。
定期的に交流の場を設け、これからも関わっていけたらよいと思う。

12 月	7日　点灯式＜詳細別途記載＞ 11日　健康診断 14日　避難訓練（地震） 25日　クリスマス会＜詳細別途記載＞ 27日　お餅つき	7 日　点灯式＜詳細別途記載＞ 25 日　クリスマス会＜詳細別途記載＞ 27 日　お餅つき

面倒くさそうに準備をするも、園庭に出ると楽しそうに順番を待ち、自分の番になると、ぺったんぺったんと嬉しそうにやっていた。つきたてのお餅もよく食べた。豚汁も人気。

イルミネーション点灯式

目的　イルミネーションを見ながら、親同士の交流をはかる。

日時　2018 年 12 月 7 日（金）16 時半～18 時半

場所　なないろキッズルーム園庭

内容　16 時半から豚汁販売（150 円）　甘酒のふるまい

17 時　園庭にて皆でカウントダウンで、イルミネーション点灯

・ベーグル屋、似顔絵　出店

反省　・点灯式の流れを考えておく

・点灯時間注意（17 時ちょうど）

・常勤スタッフは子どもが少なくなったら、園庭にて保護者と話をした方がよかった。

・保護者たちの交流の場になった。

クリスマス会

目的　季節の行事を通し、幼児・学童　異年齢の交流を深め、みんなで楽しむ。

日時　2018 年 12 月 25 日（火）10 時～11 時

場所　なないろキッズルーム 2 階

内容　はじめの言葉

サンタクロース登場

歌「赤鼻のトナカイ」

サンタクロースとトナカイによる弾き語り

幼児出し物・・・劇遊び「大きなかぶ」

学童出し物・・・ペープサート「トントンとめてくださいな」

スタッフ出し物・・・ダンス「ＵＳＡ」

サンタクロースからプレゼントをもらう

記念撮影

＊ＰＭ　学童のみロールケーキにトッピングしてケーキ作り

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">反省　・幼児・学童共に、「〇時までに登園してください」と連絡しておいた方がよかった。
・サンタクロースとの事前打ち合わせを、もっと密に行うべきだった。
・サンタの登場の工夫
・学童の出し物は、当日欠席してしまうことも想定して準備した方がよかったが、急遽代役になった子が、しっかりとこなしてくれた。
・幼児の出し物は、話の内容もよく分かっていて、スムーズに動け、大勢の前でも動じずできた。

 </td></tr>
<tr><td>１月</td><td>7日　初詣（当麻山無量光寺）

8日　健康診断
21日　避難訓練（火災）</td><td>７日　初詣（当麻山無量光寺）
 </td></tr>
</table>

2月	1日　豆まき＜詳細別途記載＞ 12日　健康診断 19日　避難訓練（地震）	1日　節分＜詳細別途記載＞ 22日　避難訓練（地震）

豆まき（幼児）

目的　日本の伝統行事を知る

日時　2019年2月1日（金）　幼児10時～11時

場所　なないろキッズルーム園庭

内容
- 園庭にて豆まきをする
- 鬼が現れ、みんなで退治する
- 鬼がスタッフの姿に戻り、仲よく遊ぶ

反省
- 鬼の退場は、鬼のタイミングで居なくなっても良い。又は鬼がやられた感じをはっきりと知らせるのも良いのかもしれない。
- 升は持ちやすいが、豆が取り出しづらい、こぼれやすい。又は豆は紙を丸めた物を豆に見立てても良いのか。
- 当日までの1週間、絵本、歌などを交えての導入がとてもよく、節分までの日を迎えられた。
- 保育スタッフが鬼の面を付ける所から子ども達に見せ、一緒に豆まきをすることで、割と落ち着いて行動することができた。その後の鬼の登場までの時間に心の準備ができたように感じた。
- 鬼との話し合いが浅く、退場時、その後の鬼の対応について、もう少し話し合いが必要だった。

節分（学童）

目的　恵方巻きや豆まきを楽しみ、節分の意味を知る

日時　2019年2月1日（金）　16時～17時

場所　なないろキッズルーム園庭

内容　節分の話の後、恵方巻きを食べる。
その後5年生が代表して、当たりくじの入った豆に見立てた紙を投げ、他学年は拾い、「福」（当たりくじ）を探す。

<table>
<tr>
<td></td>
<td colspan="2">反省　・当たりくじを入れ忘れ、とても慌ただしくなってしまった。行事の主旨を把握させながら、5年生に当たりくじを入れさせても良かった。
・恵方巻きはお代わりをしたい子が多かった。
・前日までにきちんと打ち合わせを密にしておくべきだった。
・何だかんだ言いながらも、恵方巻きや豆まき大会を楽しんでいた。2回戦になったが、年男の5年生たちが楽しんで投げていた。
 </td>
</tr>
<tr>
<td>3月</td>
<td>12日　健康診断
12日　避難訓練（火災）

16日　新入児説明会
25日　防犯訓練

スタッフ全員で訪問者への対応の仕方、避難方法、園舎内や園庭の死角など、再度確認しなければと感じた。
29日　旅立ちの会＜詳細別途記載＞</td>
<td>16日　新入児説明会
20日　さよなら遠足

高尾山
トリックアート美術館
デンバープレミアム
ゲームセンター
男女の2名だったので、楽しめるか不安だったが、キラキラした所じゃないの？（都会）地味じゃんと言いながらも、初めて乗るケーブルカーやリフト、トリックアートを楽しんでいた。
一番喜んでいたのはゲームセンターだったが・・・
25日　防犯訓練

29日　旅立ちの会＜詳細別途記載＞</td>
</tr>
</table>

旅立ちの会

目的　なないろから旅立っていく子ども達に、みんなで感謝しお祝いする。

日時　2019 年 3 月 29 日（金）16 時～17 時

場所　なないろキッズルーム 2 階

内容
- スライドショー上映
- 在園児から卒園児への言葉
- 感謝状、アルバム贈呈
- 卒園児から親への手紙
- 歌「にじ」
- 記念撮影

反省
- 話す声が後ろまで届かなかった。マイクが必要？
- ベランダで見送る際、手すりに足を掛けたり、大声で叫ぶ子がいた。
- 保育中の準備で、子ども達に目が行き届かないことがあったので、保育時間外で準備ができたらよい。
- 写真、動画等拡散しないようお願いした方がよかった。
- 退場は一人一人間隔をあけて出た方がよかった。
- 装飾は特定の女子であったが、とても頑張ってくれた。

★SNS

「今日のなないろ」http://k2love2.blog53.fc2.com/

「フェイスブック」https://www.facebook.com/nanairo.kids.room/

「今日の給食」http://7716lunch.blog.fc2.com/

★その他

ボランティアチャレンジ 受け入れ	夏休み中　中高校生のボランティア受け入れ ・暑い中でのボランティア活動とても助かった。 子ども達とよく遊んでくれる学生もいれば、友達とおしゃべりしてしまう学生もいた。本当に子どもが好きで、保育の仕事に興味がある、将来保育士や教諭を目指している、そんな学生が来てくれたら嬉しい。
小中学生職場体験	今年度は田名中学校３名、相模台中学校３名、小山中学校３名共和中学校３名、相陽中学校２名、夢の丘小学校２名を受け入れる。
一緒に遊ぼう！	園児の家にホームステイに来ていた高校生が遊びに来た。 一緒に遊んだり、給食を食べたりして、子ども達と交流した。 また、受け入れ先の園児の母親によるリトミック、父親による手品等でも子ども達と楽しむ。

★スタッフ　30 年度の振り返り　2019 年度の目標

＜30 年度を終えて＞

・1 年間同じスタッフでやってくる事ができ、（調理以外は 2 年間変わらず）1 年の流れもそれぞれが把握し、協力し合いながら進めていくことができたのではないか。

＜反省点＞

・常勤・非常勤・補助スタッフと、勤務時間がバラバラなので、情報伝達が必要。
決め事の変更点等は特に！　ノートや LINE を活用する。

・行事担当でなくても、スタッフ全員がある程度の流れは把握し、急な休みにも対応できるようにした方がいい。
保育・学童・調理・補助の区別なく、仕事内容や量には差があるが、全員で関わりながら進めていった方がよいのでは。
　→2019 年度よりスタッフ会議は基本全員参加

・慣れもあり、注意力・緊張感が薄れてくるので、安全面等常に気を引き締め、保育に取り組む必要がある。

・給食の味付けが、子どもには濃いと感じることが多々あるので、薄味を心掛ける。
　→調理ノートへの記載。その都度調理スタッフに伝える。

・基本的な勤務態度（私語・携帯使用・遅刻・提出物の期限等）に気を付ける。

＜働きやすい点＞

・子どもの行事や自分の予定に合わせて休みが取りやすい。

・スタッフ間でプライベートの悩みも相談しやすい。

・自分の子どもに「おかえり」と言ってあげられる。

＜次年度の目標＞

・一時預かりを積極的に受けていく。

・防犯対策を考える
　→防犯講習の実施

・保護者、子どもとの信頼関係を築き、子ども主体の保育や行事を楽しむ。
そして、まずはスタッフが保育や行事等日々を楽しむ。

・言葉づかい、スタッフに対する態度に気を付けさせる。

・制作等「やりたくない」「やらない」の子が増えてきているので、やり方を考える。

・普段の生活や行事の発信
　→月 1 回壁新聞の作成

・虐待が増えつつあるので、子どもに限らず、保護者の様子も気にかけていく。学童はスタッフの中に一人でも相談できる人がいればいいのでは・・・
　→子どもとの信頼関係が必須

・補助スタッフの増員